

塾生の皆様へ

冬期講習会と正月特訓の期間中、毎日、辞書・読書・新聞を活用しての
読解力の短期間大幅アップで、偏差値急上昇を目指そう

開倫塾
塾長 林明夫

1. 2016 年も、あと 1 週間になりました。開倫塾の冬期講習会、正月特訓に参加するすべての塾生の皆様と、すべての保護者の皆様は、学校成績の向上と希望校合格を心から願っておられると思います。
2. 短期間で、学校成績を急上昇させ、希望校に合格するために偏差値を急上昇させるためのポイントは2つあります。
3. (1) 一つ目は、冬期講習会・正月特訓中に解いたすべての問題を、全教科もう一度確実にやり直すことです。
(2) やり残した問題にも挑戦することです。
(3) やり直してもできなかった問題は、教科書や参考書などで徹底的に調べることです。
(4) それでもわからない問題があったら、そのままにせず、開倫塾の先生に必ず質問してください。
4. 二つ目は、辞書・読書・新聞を活用して、試験時間内に問題文を最後まで正確に読み解く力、「読解力」を確実に身に着けることです。
5. <辞書の活用で、語彙力を>
 - (1) 問題文の中に意味のわからないことばがあったら、「気持ちが悪い」と思い、必ず「辞書」を用いて、そのことばの意味を調べてください。
 - (2) 辞書で調べた内容はノートやカードに書き写し、繰り返し学習することで、すべて正確に身に着けてください。
 - (3) ことばは力、語彙数は力です。
 - (4) 1日に10語、10日で100語、1か月で300語、1年で3650語、3年で10000語、辞書を用いてことばの数、語彙数を増やしていきましょう。
 - (5) 私立中学入試、中高一貫校入試、高校入試、国立工業高等専門学校入試、大学センター入試、大学入試二次試験など、すべての入学試験の問題には難しい語句がたくさん使われています。
 - (6) ことばの意味が不明だと、問題を読み解くことができません。そこで、語彙力が求められます。
 - (7) 解いた問題だけでもよいですから、わからないことばがあったら、必ず辞書を用いて、その意味を調べ、調べたことばはすべて身に着ける。
 - (8) これが、受験勉強の最大の秘訣です。語彙力が不足していると、問題文が読み解けないからで

す。おわかりでしょうか。

(9) 試験当日まで、辞書を常に持ち歩くのが受験生です。

(10) 辞書は、受験生にとり、武士の刀と同じです。カバンの中にはいつも辞書を入れておきましょう。

5. <読書の活用で、読解力を>

(1) また、私立中学入試から大学入試二次試験まで、すべての入学試験は、全教科とも何ページ(10ページ近く)にも及び、試験時間内に、すべての問題の本文と設問、選択肢の内容を最後まで正確に読み解かなければなりません。

(2) そこで求められるのが、試験時間内に、問題文を正確に、また、分析的に読み解く「読解力」です。

(3) この試験時間内にすべての問題を正確に、分析的に読み解く力を身に着けるのに最も有効なのが「読書」です。

(4) 受験生は、試験当日まで、学校の教科書で紹介されているような本を1日3回、10分ずつ読むことをおすすめします。

(5) 図書館や友達などから借りた本は別として、自分の所有している本は大切と思われる個所に線を引きながら読む。また、コメントを加えながら読む。

(6) 線を引いたところやコメントを加えたところを中心に、何回も本を読む。大切な本は6回読むことをおすすめします。

(7) 気に入った文章は「書き抜き読書ノート」に書き写し、そのノートを繰り返し読み返すことも、記述式試験・論文試験・面接試験対策として極めて効果的です。

(8) 読書は、何よりも、「思慮深さ」を身に着けることに直結します。受験勉強をしている受験生は、頭がさえ渡っていますので、教科書で紹介されている本や教科に直結する本を、受験勉強としてどんどん読んでみましょう。

(9) はっきりいって、難関校を受験する受験生で偏差値が伸び悩んでいる場合の突破口は、辞書で語彙力不足を、読書で読解力不足を補うことに尽きます。受験生は、受験の当日まで、10分間読書に励むことをおすすめします。

(10) 短期間で、英語の偏差値を急上昇させるためには、教科書や参考書、試験問題を解き、何回もやり直すことも大切ですが、英語による読書が最も効果的です。やさしい英語の本を、辞書を片手にどんどん読む。慣れてきたら、やさしい英語の本を辞書を一切引かずにどんどん読み進める。書店や図書館に行き、自分で読めそうなやさしい英語の本を見つけて、1週間に1冊を目標にどんどん読んでください。読み終えたら、同じ英語の本をもう1回読んでみる。今度は、辞書を引きながらゆつくりと。3回目は、また一気に素早く読む。大学入試や高校入試の英語で偏差値70突破をしたいなら、英語の本に挑戦することです。ぜひ挑戦を。

6. <新聞も読解力に直結>

(1) 入学試験には、教科書に出ていないような内容が、長文にわたってたくさん出てきます。

(2) 長文の新しい内容を、試験時間内に速く正確に、また、分析的に読み解く訓練をするのに最も有効なのが、新聞を毎日なめるように読む習慣を1日でも早く身に着けることです。

(3) 受験生は、受験当日まで、新聞を1日に10分×3回読むことを強くおすすめします。

(4) 興味のある記事は、ハサミやカッターで切り抜き、スクラップブックに張り付けることをおす

すめします。記事をまとめたり、コメントを書き込んだりすることは、論理的思考能力の育成や、分析的に文字や情報を読み込むことに役立ちますので、超おすすめです。

- (5) 新聞を読んで身に着くのは、情報を短時間で分析的・論理的に正確に読み解く力だけではありません。自分で考える力と批判的思考（クリティカル・シンキング）能力です。
- (6) 世界で活躍するには、英語の新聞、英字新聞を読むことが欠かせません。その第一歩として、日本語の新聞で読んで内容のよくわかったことを、英語の新聞で読んでみると、生きた英語に親しむことができます。まずは、天気予報から英字新聞に挑戦しましょう。
- (7) 大学入試で英語の偏差値 70 以上を目指したかったら、また、英検 2 級以上の合格を目指したかったら、英字新聞に挑戦してください。
- (8) 毎日 1 時間以上、辞書を見ないで英字新聞を 1 面から読む。社説やコラムだけは、英英辞典を用いてじっくり読み込む。読み込んだ後は、スラスラと読めるようになるまで音読練習に励む。
*このレベルの英字新聞としては、英文読売(JapanNews)がおすすめです。
- (9) 英字新聞に慣れてきたら、イギリスの週刊経済誌「エコノミスト」と、アメリカの隔月刊雑誌「フォーリンアフェアーズ」を読む。
*このレベルの英字新聞としては、「ジャパントイムズ」の中にある「ニューヨークタイムズ」がおすすめです。「フィナンシャルタイムズ」もおすすめです。
- (10) これを生涯にわたって続ければ、外交官や国際金融マン、グローバルビジネスマンになる知的武装が可能となります。

7. (1) 現代はデジタル化された「知識基盤社会」、「グローバル社会」ですので、膨大な量の高度な最先端の情報が、瞬時に、また、国境を越えて飛び交っています。
- (2) それらを、仮説検証ではなく、ビッグデータとして解析してはじめて、現代的課題についての最適解が得られるといわれています。
- (3) 2020 年からの大学改革や学習指導要領の大改革は、このような社会経済的背景のもとに行われるものです。
- (4) 最も変わらなければならないのは、大学であり、企業や自治体、国家であるからです。

8. <最後に一言>

- (1) 国家の存立なくして、国民の生活や経済活動はあり得ません。日本の独立をどう守るのか。
- (2) 国家の独立の基礎は、国民である個人の自立です。日本は民主国家ですので、国民一人一人が力をつけ、自立し、尊厳をもって生きる以外に、国家存立の手段はありません。
- (3) 2017 年は、アメリカ大統領が変わります。フランスやドイツ、イタリアなどでも大きな政治の変動が発生する可能性があります。フランスとドイツで政変が発生すると、EU 崩壊、ユーロ崩壊が待ち受けます。
- (4) 何があっておかしくないのが 2017 年です。開倫塾の塾生の皆様には、今やるべきことをしっかりと行っておいただきたいと強く希望いたします。

では、がんばってくださいね。

2016 年 12 月 25 日(日)10 時 01 分